

M&A を成功に導く競争法の「落とし穴」対策

～M&A のステージ別リスク対応と契約交渉の留意点を FAQ と契約条項例で解説～

かねこりょういち

アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法共同事業

講師 **金子涼一** 氏 パートナー 弁護士 ニューヨーク州弁護士

日時 2022年11月14日(月) 午後1時00分～午後4時00分

■このセミナーは Zoom でご受講いただけます。お申し込み後に詳細をメールでお送りします。
■当日のご参加が難しいお客様には、後日動画を配信できます(開催前のお申し込みが必要です)。

本セミナーでは、M&A を成功させるためには、競合事業者間の M&A に限らず、避けて通れなくなっている競争法の規制・リスクへの対応について、M&A の実務担当者・法務担当者向けに、基本的な理解から M&A の様々な段階における実務上の重要論点と対応策、M&A 契約の交渉における留意点まで、M&A 及び競争法の両プラクティスに精通した講師が、具体例や FAQ を用いてわかりやすく解説します。

近時、経営統合や事業カーブアウト案件を中心に M&A が増加している中、特に競合する事業者間の M&A の場合には、M&A のプロセスにおける情報交換や共同行為には制限がかかること(いわゆる、競争法上のガンジャンピング規制)への認知も高まってきているところですが、しかしながら、「ガンジャンピング」の正確な理解は実務上十分に浸透しているとはいえ、M&A の様々な場面において、担当者が対応に悩まれているケースも少なくありません。例えば、競合事業者間で交換ができる情報と禁止される情報の区別や M&A の当事者間で許容される共同行為の範囲は、M&A の各ステージにおいて異なってきます。また、このような競争法の規制は、M&A の当事者間に「競合関係がない」場合にも問題になり得ることも見逃せない「落とし穴」といえます。

競争法違反は M&A の成否のみならず M&A の当事者自体にも深刻なインパクトを生じる可能性があり、実際に競争当局から警告や制裁がなされた事例もあります。このため、M&A における競争法規制の目的・対象という基礎から積み上げて、実務上、M&A プロセスのどこで問題が生じ、どのように対処するかという実践的な知識と理解を M&A の実務担当者・法務担当者が身に着けることが、M&A を成功に導く重要なポイントになるといえます。

1. なぜ M&A の実務・法務担当者にとって競争法が重要か？

2. M&A と競争法対応の基礎

- (1) ガンジャンピングとは？(届出規制とカルテル規制)
- (2) 競争法違反の処罰事例

3. M&A のステージ別「落とし穴」

- (1) M&A における競争法リスクの頻出場面
- (2) デュー・ディリジェンスと情報交換ルール
- (3) M&A 契約とクロージング・PMI 準備の留意点
- (4) FAQ で学ぶ M&A における要注意行動

4. M&A 契約の交渉と競争法

- (1) 企業結合審査と M&A 契約
 - ① 競争法届出と契約交渉のポイント
 - ② 届出基準を満たさない M&A の留意点
- (2) カルテル規制と M&A 契約

本セミナーについては、法律事務所ご所属の方はお申込をご遠慮願います。

【講師紹介】

2011年弁護士登録、2019年ニューヨーク州弁護士登録。東京大学法学部・法科大学院卒、米カリフォルニア大学バークレー校ロースクール(LL.M.)卒。国内・クロスボーダーの企業買収、組織再編、資本業務提携、ジョイント・ベンチャーやグローバルな企業結合審査、競争法当局対応に精通。欧州トップファームの M&A 部門と競争法部門で執務した経験から、M&A 取引のサポートのみならず、競争法届出やガンジャンピング対応の実務的な助言も行う。

主要著書等:『Merger Remedies Guide - Fourth Edition (Japan chapter)』(2021年11月 Global Competition Review(共著))、『Insight and Pointers on Recent Merger Control Trends in Japan for Foreign Investors』(Mondaq, 2021年12月)、『イノベーション時代の M&A と新たな競争法審査 ～企業結合ガイドライン改正を踏まえて～』(日本組織内弁護士協会(JILA)オンラインジャーナル, 2021年6月)等。

講演:『コロナ禍における M&A の最新動向と法務デュー・ディリジェンスの実務対応』(FRONTEO, 2022年5月)、『実務・法務担当者がおさえておきたい近時の M&A 実務と注目トピック ～ストラクチャリング(カーブアウト、株対価)、M&A と競争法審査、コロナ禍と M&A 契約を中心に～』(2022年1月 BUSINESS LAWYERS)、『事例と Q&A でわかる M&A とガンジャンピング～M&A・法務担当者がおさえるべき基本から現場で使える実務対応までわかりやすく解説～』(金融財務研究会, 2021年7月)等。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

主催 **金融財務研究会**
<https://www.kinyu.co.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/keichoken>
Twitter : <https://twitter.com/keichoken05>
Blog : <https://www.kinyu.co.jp/blog/>



開催日

2022年11月14日(月)
13:00~16:00

本セミナーはZoomで開催いたします。当日のご参加が難しいお客様には、録画した動画を後日配信することが可能です。(開催前のお申し込みが必要です)。後日配信をご希望の場合は、申込書質問欄のチェックボックスにチェックを入れてください。原則として、参加費をお振込みいただいた後に、メールで詳細をお送りいたします。

参加費

1名につき35,000円(消費税、参考資料を含む)
1社2名以上同時に参加お申し込みいただいた場合、お2人目から1名につき30,000円になります。
追加申込みの場合はその旨をご記入下さい。

申込先

金融財務研究会 ホームページ <https://www.kinyu.co.jp/>
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-10-8 グリンヒルビル
TEL 03-5651-2030 FAX 03-5695-8005

申込方法

上記ホームページの申込欄からお申し込み下さい。参加申込書をFAX又は郵送いただいでのお申し込みも承ります。折り返し受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)クレジットカードご利用の場合は、質問欄にその旨をご連絡下さい。参加費の払戻しは致しませんので、当日ご参加になれない場合は、代理の方のご出席あるいは当社および金融財務研究会主催の他のセミナーへのお振替をお願いします。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内をお願いいたします。)

ご記入いただきました個人情報にはセミナーの開催のために使用させていただきますが、漏洩などがないよう最善の予防、是正に努めます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

普通預金 口座名 (株)金融財務研究会

三菱UFJ銀行	本店	1642356	三井住友銀行	本店営業部	7397637
三菱UFJ信託銀行	本店	2818151	みずほ銀行	東京営業部	1427715
三井住友信託銀行	本店営業部	2993982	りそな銀行	東京営業部	1693669

◇クレジットカードはVisa、Mastercard、American Express、JCB、Diners Club、Discover がご利用いただけます。

切らずにこのままお送り下さい

FAX 03-5695-8005

参加申込書

M&Aを成功に導く競争法の「落とし穴」対策
【Zoom】 11/14

2022年 月 日

ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい 受講方法 <input type="checkbox"/> LIVE配信 <input type="checkbox"/> 後日配信 弊社からのお知らせ、メルマガの送信を <input type="checkbox"/> 受信する <input type="checkbox"/> 受信しない クレジットカードをご利用の場合は下記に✓を入れて下さい。 <input type="checkbox"/> クレジットカード利用 セミナーコード: 2113 (Law-k222113)	会社名	TEL FAX		
	所在地	E-Mail 〒		
	参加者ご氏名	部課名		
	〃	〃		
	〃	〃		
	〃	〃		
書類送付先 (同上的場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX		

お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。